

#### 4. 雑誌・出版物

##### <有害情報を得たときの状況>

書店やコンビニエンスストア等で、店頭に置かれている雑誌・出版物は、誰の目にも触れ、特に若者（18才未満）にたやすく内容が見られる。店も未成年者には注意書きが貼られているが、見て見ぬフリをしている。

##### <有害だと感じた理由>

内容が写真やイラストで性的描写、解説、主として男性が女性にセクハラ行為を助長するような記事が増えてきた。「性」を呼び物にする風潮は青少年の情操には最も有害である。

##### <取り組んだ事例>

少年を補導する立場の一員として定期的にグループで書店・コンビニ等、店頭で陳列している有害図書をチェックし、経営者に自制を促している。

##### <行政や業界へ望むこと>

業界はこれらの出版物の氾濫に対して、大いに反省し業界全体でモラルチェックをして、取締りをして欲しい。

(奈良県・男性・70歳以上)

##### <有害情報を得たときの状況>

公共の場で成人が有害と感じられる（本人にとっては快樂）雑誌、マンガ、三流スポーツ誌等を堂々と広げ読んだ後はその辺にポイ捨てる状況は青少年がいくらでも手にする機会を作っている。製作の取締りを強化すべきである。

##### <有害だと感じた理由>

成人対象の物であってもその取扱い（販売方法や使用後の処理）などが規制されていないので青少年が容易に入手できる状態であることに危機を感じる。

##### <取り組んだ事例>

相手が成人か青少年か、又、有害か否かの基準が明確でないのではっきり注意できない。

##### <行政や業界へ望むこと>

青少年は大人の姿を見て育つと言う基本にもどり、大人が有害環境への理解をもっと深めるべきであると促して欲しい。

(大阪府・女性・60代)

##### <有害情報を得たときの状況>

コンビニや一般書店で雑誌を購入し読んでいると広告欄に成人向ビデオや雑誌、オモチャ類の広告がたまにあります。もし青少年が手に入れおもしろ半分欲求が高まった場合心配されます。

##### <有害だと感じた理由>

男女、性に関心をもたれるのは当然必要なことですが、無責任、遊興本位に関心をもたれるのは大人社会にとって心配なことです。

<取り組んだ事例>

表現、出版の自由とかいう報道もあって、販売自粛や撤去活動等したくてもできかねています。

<行政や業界へ望むこと>

昭和20～30年代は自由に手に入る社会ではありませんでした。販売規制や出版規制を強化すべきです。

(宮城県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

コンビニ店の雑誌コーナーの一般図書の中に過激な性描写のマンガ(小中学生向き)が混じっていた。

<有害だと感じた理由>

小中学生が目にした場合、ストレートな過激な描写は情緒的にも非常に有害だと感じた。

<取り組んだ事例>

警察署、補導員のメンバーと巡回の折りに区分図書のお願いを強くしている。

<行政や業界へ望むこと>

本、雑誌類の内容について常に点検する必要がある。

(石川県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

喫茶店などに雑誌、まんが等こんな置いてもいいのかと思います。

<有害だと感じた理由>

雑誌自体がきわどい写真の為。

<取り組んだ事例>

P T A、少年補導員と一緒に年三回(春、夏、冬休み) 合同で警察と一緒に回る。

<行政や業界へ望むこと>

学校、地域、警察も協力していただけます。

(愛知県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

「コンビニであった(見た)」という保護者から情報を寄せられた。

<有害だと感じた理由>

性風俗を中心の広告雑誌が(この街の飲食店広告誌) 青少年が目にとまりやすい店に置いてあること、その内容。

<取り組んだ事例>

警察への情報提供。

<行政や業界へ望むこと>

出版物等の厳しい法律改正、規制。

(岩手県・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

ワイセツな内容の雑誌が道路、やぶの中に捨てられていた。時々回収して処分している。ビデオテープも同様である。

<有害だと感じた理由>

内容があまりにも現実離れしている。もし子ども達が見て実行されたら大変であると思う。

<取り組んだ事例>

現物の回収処分のすすめ、自動販売機の除外活動。

<行政や業界へ望むこと>

自動販売機等の（遠隔操作自販機）規制強化をして欲しい。

（宮崎県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

書店販売物の中で成人向け週刊誌、週刊雑誌の多くに青少年が入手出来る物が最近相当多く見受けられる。

<有害だと感じた理由>

薬物使用している漫画、性交している写真等、商業優先での販売物は深刻な有害をもたらしている。

<取り組んだ事例>

地元ライオンズクラブの会員として青少年育成活動に十数年来取り組んでいる。特に「薬物乱用防止活動」では、小中学校を訪ね防止教室を年間十回程度続けている。

<行政や業界へ望むこと>

行政の動きは少し良くなっているが、教育委員会の反応が今一つ消極的である。問題意識が欠けていると思われる。或いは現場に入って欲しくないという感が強い。

（広島県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

有害雑誌出版物の件で各地の本屋及びコンビニ等を調査して見廻った事があります。

<有害だと感じた理由>

有害図書の表紙がビニールで包装してあり内容を直接見る事が出来ない様になっていた。

<取り組んだ事例>

まんが喫茶に入って見た所、求人情報の本があり、その内容は図書に反したもので驚きました。

<行政や業界へ望むこと>

行政は昨今の若者に厳しく義務と責任を持たせる様に教えて欲しい。

（大阪府・女性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

男性向け週刊誌や少女向け雑誌に掲載されている物の内容は青少年の健全育成に対して問題がある。これらを読んでいる青少年が多数いる事に問題を感じた。

<有害だと感じた理由>

ヌード（性交を伴うもの）シーン、露骨な性描写。

<取り組んだ事例>

青少年育成の会議で問題提示をし、PTAや各機関への啓蒙活動を行った。

<行政や業界へ望むこと>

行政へは、もっとしっかりとした方向性（取締り等）を示して欲しい。業界へは、営利に走らず将来を見すえたものをしっかりと持って欲しい。

（神奈川県・女性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

仕事の一環として、書店・コンビニ等へ有害図書類等の立ち入り調査に同行した時。

<有害だと感じた理由>

規則で定める有害図書類の陳列方法として条例で定められてはいるが、果たしてそれが有効なのかどうか疑問に感じた。テープなどで開けないようにしているが、はずして見る人は見るらしい。一応18才未満おことわりと表示しているが、目に入らないわけではなく表紙など、見ようと思えば見ることはできる。

<取り組んだ事例>

仕事の一環として立ち入ったので、条例の説明とそれに基づく指導と協力を求めた。

<行政や業界へ望むこと>

行政の指導にも限界があると思うが業界や販売者（特に販売者はそれだけを販売しているわけではなく、その売り上げがどれほどのものか分からないが、店に置く、店に置かない、と言った良識を問いたい）に指導や規制をもっと厳しくしてもらいたい。

（北海道・女性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

コンビニなどでの猥褻に関する雑誌の多いこと。

<有害だと感じた理由>

未成年に対する性情を下品で過剰に宣伝しているように思う。そのような雑誌は大人が買うと必ず出回る。

<取り組んだ事例>

下品で露骨にすぎないよう検討委員会等で規制を考えてはどうか。そのような雑誌は、店で陳列を自粛できないか。

<行政や業界へ望むこと>

表現の自由が行きすぎではない規制をある程度かけるべきではないか。

（鹿児島県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

週刊コミック誌のゾーンに女性向けのものがいろいろあり、県の有害誌指定などの情報から、見ると刺激の強過ぎるものが一緒に置いており、中学生や高校生が簡単に手に取って見られる状況にある。

<有害だと感じた理由>

一般誌と同一棚に置かれており、性に関するビデオやグッズが簡単に誰でも通販して購入出来る。

<取り組んだ事例>

書店組合に対して青少年問題議会などを通してエリアを別にするなどの提案をしているが、是正されてない。

<行政や業界へ望むこと>

内容による線引は大変だと考えるが、基本は出版～販売時での成人規制の枠のあり方ではないか。

(山形県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

「銃器犯罪根絶の集い」に参加した時、パネラーの方が一冊の本の話をされました。「実話時代」という月刊誌でした。福岡のコンビニにこの本が並んでいる事にびっくりしたという事でした。早速帰宅して近くのコンビニに立寄ってみました。本棚に並んでいました。

<有害だと感じた理由>

手に取って見ると内容は、暴力団の事ばかり。マンガ、又、実在の暴力団の写真等大変驚きました。カッコよさに憧れる少年達には、この本は問題あるのではないかと感じました。

<取り組んだ事例>

現在のところ、具体的な行動はやっておりませんが、身近の場所「コンビニ」で販売されているという事で、今後関係団体と話合うつもりです。

<行政や業界へ望むこと>

業界の方々にも、この様な本が子ども達に与える影響を考えて頂きたい。行政は悪書の規定をもう少し厳しくして頂きたい。

(福岡県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

レンタルビデオ店の本売り場に青少年には有害と思われる雑誌が多数陳列されていました。

<有害だと感じた理由>

見逃してしまいそうな、18歳未満禁止の小さな仕切りがあるだけで「一般の雑誌」「趣味の本」「18才未満」「アウトドア関係」の順に陳列されていたことにびっくりしました。これでは、いつでも青少年の目に触れ、小さな仕切りは何の役にも立たないと思い

ます。店内の隅に成人雑誌コーナーを設け、売り場から隔離するのが良いと思いました。

<取り組んだ事例>

上記の状態では、条例違反にはならないらしく、今のところは何も出来ないでいます。

<行政や業界へ望むこと>

条例改正や法改正をもっと厳格なものにして欲しいと思います。日本は諸外国に比べ、緩すぎるのではないのでしょうか。

(北海道・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

書店やコンビニエンスストアでマンガや雑誌等に過激な描写が掲載されていた。また、以前有害図書等を収納した自動販売機が設置されていたが、全て撤去された。

<有害だと感じた理由>

露骨な性描写や過激な暴力描写が多く、区分があいまいとなっていたものがあつたため。

<取り組んだ事例>

書店等への立入調査に同行して、区分陳列の徹底をお願いした。表面上は分からないものが多く、店側としても全てチェックすることは難しいとは思うが、なるべく自主的に取組んで欲しい。

<行政や業界へ望むこと>

業界の自主規制をお願いしたい。

(北海道・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

成人用コーナーを設けてはいるが成人用の雑誌、マンガ、CD、DVDの類が子ども達が手にする機会も多いし、又、容易であると思う。エロチックなマンガが多種類に渡って発行されている。コンビニ、書店など容易に手にする事が出来る。このような状況、文化は子ども達に少なからずマイナスの作用となっていると思う。販売法の規制を強くすべきと思う。

<有害だと感じた理由>

内容が激しく興味をそそるだけである。

<取り組んだ事例>

地域支援ネットワーク（子ども支援）の中で、これらの情報を報告し、地域の中で環境浄化の機運を高める何らかの取組の必要性を訴えている。

<行政や業界へ望むこと>

地域の行政やPTA組織が連携して取組む機運を高め実践活動に結びつけることを感じている。

(高知県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

コンビニ、書店等において成人向け雑誌が目が届く「成人コーナー」に陳列してなく、万引などの被害にも会いやすい状況にある。

<有害だと感じた理由>

未成年者が有害情報に触れ、万引を誘発しやすい。

<取り組んだ事例>

ボランティアと一緒に陳列方法の改善など協力要請を行った。

<行政や業界へ望むこと>

DVD等が入った雑誌が増加しており一見して分かりにくい点が問題であり規制が望まれる。

(島根県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

コンビニや書店で販売されているマンガ本の中に、表紙や作品名からは想像もつかないようなわいせつな内容や性描写が頻繁に出てくるものがあることを知った。レディースコミックにその傾向が強いようだ。

<有害だと感じた理由>

他人の目をあまり気にすることなく、少年、少女が上記の雑誌を購入できるところに問題があるように思う。

<取り組んだ事例>

少年センターに連絡した。少年センターでも随時立入調査し、成人向け表示や販売区分けなどを店に協力依頼しているということであった。

<行政や業界へ望むこと>

書店やコンビニでも良心的な所では帯封をしたり、様々工夫をされているので、こうしたマンガ、雑誌の販売に関する方法を統一し、徹底するよう業界、書店商業組合等に強く働きかけていただきたい。

(滋賀県・女性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

ロリコン趣味の専門店にある、小学生、中学生がモデルとなっている、アダルト向けの写真集、本、DVDの販売。まるでアイドルの様に人気投票をして競わせている表を貼っている。

<有害だと感じた理由>

嫌悪感を覚える様ないかげわしいポーズをさせた写真集（表紙しか見れない。ビニールでカバーがある為）、店内の宣伝ビデオに登場する中学生の子ども様子（ポーズ）には、愕然とする。問題はモデルとさせる保護者だと思う。

<取り組んだ事例>

問題のある本の販売を自粛して欲しいので、東京都の青少年健全育成に報告しました。後日東京都の治安本部より返答があり、表現の自由との関係もあることから、学識経験

者の意見を参考にしながら検討していきたいので今しばらくお時間を頂きたいとの返事でした。

<行政や業界へ望むこと>

難しい問題ですが、何でも「表現の自由」で出版したり、又、保護者はモデルをさせたり、子ども達は自分がスターにでもなると感違いでとしたかのポーズを取り、日本人の奥ゆかしさはいったいどこへ行ってしまったのでしょうか。青少年モデルの年令、内容には一定の枠組みを「表現の自由」の中に入れこんで欲しいと思います。

(東京都・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

雑誌、出版物は有害図書（黄色いポスト）回収によって集まったものであり、12月の年末には、軽のライトバン一杯になった。ちなみに黄色いポスト25箇分の量であった。

<有害だと感じた理由>

いわゆる健全な性についての発達をそこなう恐れがあると思うし、写真のモデルとなっている少女の健全な心身の発達をそこなう恐れがあると思う。

<取り組んだ事例>

定期的な有害図書の回収だけである。

<行政や業界へ望むこと>

毎月回収しているが、その量は膨大な量となっているが、発行が許されている限りいちごっこになっている。

(島根県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

地域の環境美化作業の折、道路脇の繁みに有害図書が乱雑に放置されていて、市の指定のゴミ袋に入れ処分した。

<有害だと感じた理由>

青少年にとって性的刺激が強く問題である。

<取り組んだ事例>

青少年をとりまく会議に出席のとき、青少年の健全育成に向けて、問題点等について話をしてお願いした。

<行政や業界へ望むこと>

大人のモラルの問題、場所を問わず安易に放置して青少年の目にふれやすい結果を招かない様にする。行政は環境美化に努め、ゴミなど捨てられない様に取り組むことが大切。

(岐阜県・男性・70歳以上)